



よ坊さんだより

▼27▲

歯周病というと口の中だけの病気と思われるかもしれませんが、実は歯周病が全身疾患に大きく関わっていることがわかってきています。

歯周病という口の中だけでなく、狭くなることよって起こります。それが更に進み、完全に詰まり血液が送られなくなり、心臓の筋

流れなくなって脳細胞が壊死してしまう病気です。歯周病の進行によって増殖した歯周病菌が血管内に入り込み、さらに動脈の壁の中に歯周病菌などの異物が侵入するとアテロームというものを形成し、動脈の壁が盛り上がり動脈が狭くなってきます。その結果動

循環器系の病気にも

患していない場合に比べて、動脈疾患に約5・45倍もかかりやすいという結果も出ています。早期に歯周病治療を行って、歯周病菌をできるだけ少なくすることができれば、歯周病菌が引き起こす循環器系の病気になる可能性を下げる事ができるのです。

次回は歯周病と誤嚥性肺炎の関係についてご説明します。

たとえば、狭心症や心筋梗塞、脳梗塞。狭心症とは簡単に言えば心臓の筋肉に血液を送る動脈が詰まって

肉が壊死してしまう機能しなくなることが心筋梗塞です。脳梗塞は脳の中の細い

脈が詰まっていき、狭心症や心筋梗塞、脳梗塞を引き起こすのです。

動脈に血栓などが詰まって、動脈の先の脳に血液が

ある調査によると歯周病に罹患すると、歯周病に罹

（京都府歯科医師会 広報室次長 石原宗和）
*「よ坊さん」は日本歯科医師会のイメージキャラクターです。

歯周病⑤